

農村RMO 推進フォーラム

参加
無料

住んでみたい・住み続けられる農山漁村づくり

農村RMOは、農用地保全や生活支援、地域資源活用などを通じて農村の持続的な発展を支える仕組みとして全国で取組が進められています。しかし、その活動を支える人材の高齢化や担い手不足、世代交代の難しさなどが大きな課題となっています。本フォーラムでは、この共通課題に焦点を当て、岡山県内での取組事例や実践者の声を共有しながら、地域人材の育成や若者・女性の参画、関係人口や外部人材との連携について考え、農村RMOの持続的な運営に向けたヒントを探ります。

日時

令和8年11月27日(金)

【午前の部】9:30～11:50 (受付開始 9:00～)

取組発表・パネルディスカッション

【午後の部】13:00～17:30

岡山県笠岡市新山地区現地視察 及び 意見交換会

定員

会場 先着80名／現地視察 先着40名

オンライン500名 ※オンライン参加は午前の部のみとなります。

農村RMO・一般RMOの構成員、自治会・地域協議会等関係者、農業者、県・市町村農政担当者、地域おこし協力隊、集落支援員、学生、地域づくりに関心のある方 など

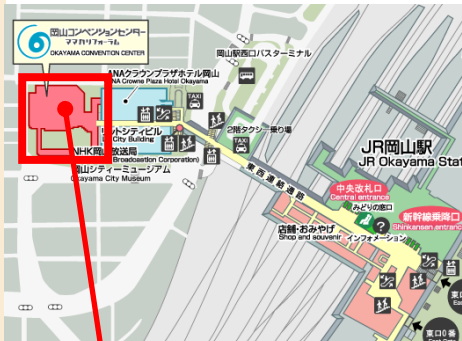
開催形式

対面及びオンライン同時開催
(ハイブリッド開催) ※オンラインはZoomまたはYouTubeで視聴可能

場所

岡山コンベンションセンター
(ママカリフォーラム) 2F展示ホール
(岡山県岡山市北区駅元町14-1)

<アクセスマップ>



会場

岡山コンベンションセンター
(ママカリフォーラム)
2F展示ホール
岡山駅2階連絡通路直結

テーマ：地域の未来をつなぐ『人づくり』～農村RMOの持続的な運営に向けて～

9:00～	開場・受付	
9:30～9:35	開会挨拶	中国四国農政局
9:35～9:50	農林水産政策研究所発表	農林水産省 農林水産政策研究所 上席主任研究官 新田 直人 氏
9:50～10:10	コーディネーター・有識者自己紹介 ～イントロダクション～	NPO法人みんなの集落研究所 理事 水柿 大地 氏 愛媛大学社会共創学部 講師 竹島 久美子 氏
10:10～10:30	取組発表①	新山地区自治会 (岡山県笠岡市)
10:30～10:50	取組発表②	上加茂地区住民自治協議会 (岡山県津山市)
10:50～11:00	休憩	
11:00～11:50	パネルディスカッション	テーマ：未来を担う人材をどう育てるか ～担い手不足の解決に向けて～
11:50～13:00	昼 休 憩 ※昼食は各自で御準備をお願いします。	

新山地区現地視察 及び 意見交換会 ※希望者のみ、先着順

13:00～13:10	岡山コンベンションセンター出発	
13:10～14:10	貸切バスで移動	
14:10～16:10	新山地区視察	● 庄屋屋敷とくら ● レンゲ畑等 ● 笠岡市新山公民館にて現地視察参加の皆様が意見交換会を行います。
16:10～17:30	貸切バスで移動	
17:30	岡山駅到着 解散	



農村RMO研究経過報告



農林水産省 農林水産政策研究所 上席主任研究官 新田 直人 氏

岡山県真庭市総合政策部長、農林水産省農村振興局都市農業室長等を経て、現在は中山間地域の農地保全や農村RMOの研究を担当。真庭市の農村RMO「吉縁起村協議会」による地域管理構想の作成に携わる。鳥根県邑南町と東京の二地域居住を続けている。



コーディネーター



NPO法人みんなの集落研究所

中山間地域をはじめとした、人口減少や少子化高齢化等に起因する課題をもつ岡山県内の地域・集落に対して、その維持と発展に関する調査研究及び提言、マッチング、コンサルティング、人材育成などに関する事業を行い、諸機関とのネットワークを構築しながら、社会全体の利益の増進に寄与することを目的に活動している。



理事
水柿 大地 氏



上級研究員
小野 賢也 氏

有識者



愛媛大学社会共創学部 地域資源マネジメント学科 農山漁村マネジメントコース 講師 竹島 久美子 氏

埼玉県出身。2020年に愛媛大学社会共創学部助教として着任、2026年から講師を務める。専門は農業経済学、学生を連れて農村地域を訪問し自らも関係・交流人口になりつつある。



取組発表



新山地区自治会（岡山県笠岡市） 会長 山部 明道 氏、畝山 弘児 氏

農村RMOモデル形成支援事業実施地区1年目。

「農業・子ども・暮らし」のテーマに分かれて話し合いを積み重ねながら、買い物支援に向けた試験的な取組や、地域のブランド米「れんげ米」の可能性検証、子どもたちの主体性を育てる取組などに挑戦中。今後は、多面的機能支払制度等と連携した農用地保全の体制づくり、買い物・移動・生活支援の仕組みづくり、子どもたちの農業体験による新たな関係人口づくりなど、地域課題に応じた実証を進めながら、地域全体で継続的に取組を支える体制づくりを目指している。



上加茂地区住民自治協議会（岡山県津山市） 事務局長 國米 彰 氏

農村RMOモデル形成支援事業実施地区2年目。

平成21年より津山市の地域運営組織のモデル地区として活動を始め、地区間の連携や協議会活動のあり方を見直し、住民アンケートをもとに3部会に再編。令和7年度からは、農村RMOモデル形成支援事業に取り組み、共有地の草刈りの効率化、空き家の活用、体験プログラムや小さな商いの実施など、地域の課題に応じた実践を重ねながら、地域内の各町内会が連携して取り組む動きが生まれている。農用地保全や多面的機能支払制度の活用方法の再検討、鳥獣害対策など、地域内外の個人や組織と連携しながら、継続的に課題解決に取り組むための体制づくりを行っている。



参加
申込

予約サイトからお申込みください

<https://japan-gastrotourism-and-trade.com/nouson-rmo/seminar/chugokushikoku2026/>

お申込締切 ▶▶▶ 2026年 11月20日(金)

※オンライン参加は11月26日（木）17時までお申込みいただけます。

スマートフォンで二次元
コードを読み取り、または
左記URL から必要事項を
入力してください。

※定員に達し次第締切



主催

中国四国農政局
株式会社JTB

お問合せ

農村RMOフォーラム事務局(株式会社JTB内) 担当: 渡辺、竹内 (秀)、秋元、田中
☎ 03-6737-9261 ✉ nouson-rmo@jtb.com